



(社)芦屋市シルバー人材センター

# はつらつ 芦屋

2007・1

新年号 No.3



メールアドレス [ashiya@sjc.ne.jp](mailto:ashiya@sjc.ne.jp)

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

雪化粧に映える野路菊 緑町の潮風通りで

撮影 笹部成雄 (会員番号873)



# 謹 賀 新 年



新年明けましておめでとうござ  
います。

皆様にはお健やかに新春をお迎  
えのこととお慶び申しあげます。

平素はシルバー事業の運営にご  
理解とご協力を賜り厚くお礼申し  
あげます。

おかげさまで当センターは、今  
年、設立20周年を迎えます。この  
間、発注者の皆様のご協力や、会  
員、先輩の役員方のご努力で、順  
調に事業が拡大してまいりました。  
この場をお借りしてお礼を申し上  
げます。

さて、シルバー事業の基本理念  
である「自主・自立、共働・共助」  
を目指して一昨年末に組織されま  
した「地域班」の活動も徐々に定  
着してまいりました。さらに昨年  
は、当センターの運営に多くの会  
員に参加していただくことが活性

化に繋がるものと考え、企画・事  
業・生活支援及び適正就業推進の  
各委員会を設置し、各理事が分担  
するとともに委員の公募を行ない、  
組織化することができました。

また、昨年10月には、この事業  
委員長をリーダーに「20周年記念  
事業実行委員会」が設けられ、本  
年11月を「記念事業月間」と定め、  
これに向けて種々の検討が行なわ  
れています。

このように、会員による自主的  
な活動がスタートしたばかりです  
が、みなさまのご協力をいただき  
ながら、これらの委員会活動が当  
センターの今後の発展に寄与する  
ものと期待しております。

本年が皆様にとつて健康で幸せ  
な年でありますよう心からお祈り  
し、ごあいさついたします。



理事長 林 一夫



今年の干支は「イノシシ」です。会員の中で当たり年の方は、大正12年生まれが5名（男2名・女3名）、昭和10年生まれが54名（男35名・女19名）。皆さん益々お元気でご活躍ください。

上の写真の置物は、なんと「紬（つむぎ）」で作られたイノシシ。山村潤子会員が丹精を込めた傑作。あまりの可愛さに旧年中に完売となりました。



# 初会合から議論白熱

## 記念事業実行委員会公開



4部会に別れ活発な意見をかわす  
20周年記念事業実行委員の皆さん

### 20周年記念事業実行委員会

氏名	役割分担
林理事長	全般
宮本 允子	記念誌
有馬 忍	会員活動
青田 清子	会員活動
一瀬 奎次郎	会員活動 ボランティア
山村 潤子	ボランティア
埴 数美	式典イベント 会員活動
北川 知可子	式典イベント 記念誌
乃生 須 啓	◎ボランティア 会員活動
西山 吾郎	ボランティア
● 横山 襄	記念誌 ボランティア
山本 徳高	ボランティア
酒井 淳	◎会員活動 ボランティア
中原 伸二	◎式典イベント 記念誌
大沼 康雄	会員活動
杵田 瀬津子	会員活動
笹部 成雄	記念誌
服部 耀	式典イベント 記念誌
上田 晶三	会員活動
寺尾 小夜子	記念誌
高田 智佐生	式典イベント
大重 美奈子	◎記念誌 式典イベント
鈴木 一生	式典イベント ボランティア
潮崎 桂	式典イベント ボランティア
亀山 昌也	記念誌
浅原 友美	式典イベント
● 委員長	◎部会リーダー
	総勢26名

平成19年は、芦屋市シルバー人材センターにとって記念すべき20周年に当たります。

この記念事業を盛大に行うための実行委員会初会合が10月31日、センターの2階にある納税協会会議室を借りて開かれました。

理事、企画、事業、生活支援、広報の各委員と地域班長の26名が左表のようにメンバーを構成。横山氏を委員長に4部会に別れ、各自希望の役割を担当することになりました。

林理事長、横山委員長の概要説明に、早速各

委員から活発な質問が続出。各部会に分かれた実質協議に入っても、議論百出。熱気ムンムンの実りある会合となりました。

#### 4部会の内容

式典・イベント 〓 式典などの実行

会員活動 〓 会員の親睦、普及啓発活動

記念誌 〓 誌面、取材、資料収集

ボランティア 〓 地域への寄贈など

各部会はテーマを検討、実行するのは勿論ですが、これだけの大イベントを達成するために、会員の皆さんの協力が必要です。

会員活動担当の活躍に期待するとともに、事務局だよりでも呼びかけますので、どうかよろしくお願いいたします。



# 国体カヌー会場をより美しく

”ハンカチ王子“の出場などで盛り上がった「のじぎく兵庫国体」。10月6日から9日まで、芦屋市陽光町キャナルパークでもカヌー競技が開催されました。

芦屋市シルバー人材センターは、恒例の潮芦屋公園清掃活動を前倒しに9月30日、陽光緑地護岸一帯で男性56名女性18名がボランティア活動を展開。全国から参加の皆さんが気持ち良く競技してもらえるよう協力しました。



足場の悪い堤防では危険予防の救命胴衣をつけて

## 清掃奉仕に参加74名!

看板の周辺も念入りに...



落ち葉を集める女性会員



昨年は雨のため、折角の活動が出来ませんでした。今回はすがすがしい秋晴れ。場所も国体のカヌー会場に変更。いつも意義のある行事に参加会員の意気も大いに揚がりました。

午前9時から2時間、皆さんの努力が実り風光明媚な会場周辺は、より美しい姿で遠来の客を歓迎。とかくモラルの低下が問題になる昨今ですが、この清掃奉仕活動は毎年センターの秋の恒例行事として、これからも「美しい芦屋」を保つ一翼を担ってゆくことでしょう。



# 「また来てくれるの?」

## 子供たちに人気の手作り教室

少子化の流れを変えるために、国・地方公共団体が重点施策として取組んでいるものの一つに、地域住民による「子育て支援事業」があります。

当センターもその一環として芦屋市内にある8学級の学童保育のうち、精道小学校内にある「ひまわり学級」に、当センターの山村潤子・有田フクエ会員が小物作りの教室を開きました。小学1年から3年までの子供たちが対象です。



かわいい作品

軍手を使ったかわいい犬の指人形に子供たちは大喜び。応援の当センター事務局員も童心に帰ってワイワイ、ガヤガヤ。「また来てくれるの?」との可愛い声に、これからもこのようなボランティア活動を推進していきたいと考えています。



ワイワイ、ガヤガヤ賑やかな教室

栗に黒豆など、秋の味覚と自然いっぱい丹波市・丹波の苑で10月28日、兵庫ふれあいフェスティバル2006が開催されました。澄みきった青空のもと、洒落たテントがずらりと並び、県下から参加のシルバー会員で賑わいました。

### ふれあいフェスティバル



### 大柵・茶屋公園で賑やかな秋まつり

精道小学校の建て替え工事に伴って、今年の「秋まつり」のメイン会場は大柵・茶屋公園にかわりました。10月15日当日は貫けるような秋晴れの中、「本通り商店街」前の車道での地車練りまわし、子供みこし、そして公園での縁日、イベント。恒例の当センターの独自事業作品の展示販売も行われました。

## 青空のもとイベント多彩





# 技術向上に向けて 各種講習会を開催

## 子育て支援

(10月10日)



## 緑樹保全

(10月10・12・13日)



## 家事援助

(10月18・19・20日)



## 自転車交通安全

(11月9日)



## 清掃

(5月23日・7月25日・9月26日・11月28日)



## パソコン

(12月5・7・19日)







楽吟集

宮本 允子

(会員番号26)

七十年以上の人生で、美しい自然も十分眼にした苦なのに、なぜか花鳥風月とは無縁の生活です。そんな私の日常を詠みました。お笑い下さい。

お一人様一品限りをもう一度  
レジに並べば同じ顔ぶれ

目減りする年金で、やりくりするのが賢い主婦というもの。  
お仲間も沢山いるんですねえ。

苦勞して育ててやったと恩売れど  
「生んでくれとは頼まぬものを」

子育てと教育費の愚痴をこぼす娘に、私の苦勞を語れば、こんなことをぬかした。孫だって、あんたを親には選びたくはなかつたでしょうよ。

残り物かき集めたる昼食も  
戦時思えば豪華なランチ

戦争を語れる人も年々少なくなる。

戦場を知らぬ女子供だって、空襲におびえ空腹と闘って来た。

残り物であろうと賞味期限切れであろうと、「モツタイナイ！」

いつかまた痩せてはこうとしまいたる  
Gパン10年筆筭の肥やし

食欲には逆らえず、結果として哀れ三段腹。捨てられぬ細きGパン、あれをはくのは夢なのでしようか。



作者プロフィール  
宮本 允子さん

会員誰もが楽しみにしているのは、この「楽吟集」ではなかるうか。ぜひ作者のプロフィールを紹介してと仰せつかった。

月並みな質問ひとつ、文章を書かれるようになったキツカケは？お答えは「誰でも書ける手紙」という市の講習を受けたのがそもその始まり。書くことの面白さにはまってしまった。そのうち、新聞、雑誌に応募し、次々とチャレンジしていく。結果、何度も入選して現在に至ったとのこと。  
それよりも話に熱が入ったのは、会員にな

シルバーから依頼されたる家磨き  
わが家の居間には埃が積もる

他家の台所も風呂もピッカピカ。だが、わが家では「埃では死なない！」と居直っている。

「家政婦は見た」よな事件起こらない  
つまらないなあシルバーのヘルパー

守秘義務とやらで他人に喋れないのはチト辛い。他家に入るとわが暮らしと違ふところを発見し、感心したり驚いたり。でも、残念ながら、ご夫婦のもめごとや、遺産争い、殺人事件には遭遇しないのよねえ。

つたキツカケ。お隣さんが老人会の会長さん。「今度シルバー人材センターを起ち上げるのに人数が足らん。あんた入っとくはなはれ」「いや、私はまだその年には達してません」「そんなことおまへん。その頭（白髪）やつたらいけませ」  
ということでメンバーに。

それやこれやで年長の友が増えるし、健康で働ける幸せをつくづく感じてますとおっしゃる。今、お宅では「出たきり老人」と呼ばれているそうだが、因みに私は「芦屋のお聖さん」と、呼ばせて頂いている。

聞き手 北川 知可子



**伊勢路来て神宮一見をみず帰る  
馳走にカラオケあればよい**

1号車、2号車総勢74名。新入会員2名も加わり、長道中の会話も弾んだ。

今回のバス研修旅行は観光地で名高い伊勢方面。お待ちかねの昼食場所「扇芳閣」には1時間遅れで到着。食事が始まりかけた時、舞台に注目、照明を消しての水のイリュージョン？箸を持つ手も一瞬止まる。一転して、支配人の口上よろしく、どてこい造り。威勢よく手拍子にのって大マグロの捌きを披露。イササカ演出過剰気味だが、美味しいマグロを頂いた。

伊勢湾を見渡せる階上の温泉で汗を流す会員も。帰途は道路工事のため、渋滞延々、芦屋到着は8時20分。皆さんお疲れさま！



ダイナミックな「どてこい造り」



総勢74名の大宴会



三重県有形文化財「賓日館」



明治40年に建立



見事な庭園



舞台付きの百二十畳敷の大広間



# 健康の秘訣

川の流れるように悠々

鳥居 純子さんの巻

「失礼ですけど、おいくつなんですか？」

思わず声が出てしまった。鳥居さんは大正13年生まれの83歳。平成13年に入会、現在は議会だより、県民だよりなど830軒ほどの配布が主なお仕事です。一枚つつ丁寧の手折りで2、3日に分けて配っておられるとの事。「足の運動に丁度良



## 武勇伝の持ち主

いんですよ」と笑顔が若々しい。

今一番の楽しみはカラオケ。南

宮町在住の鳥居さんは、仲良しの

隣町大東町とで作る交流の場「東

南会」で持ち歌の20曲ほどを唱い

「大いにストレスを発散しているのですよ。」

さほどストレスをお持ちとは思えない穏やかな感じ。

青春時代を北京で過ごした鳥居

さんからは、ゆつたりとした川の

流れのように、のんびりとそして

すがすがしさが伝わって来る。

「いつの日か又、北京に行ってみ

たいと思っていますよ」と遙かな

地に思いを馳せる鳥居さん。

娘さんがおられるイタリアへ旅

行の時には、二人組のスリを追っ

かけ、ビスタを張ってパスポート

を取り戻した武勇伝の持ち主でもある。

取材 大重 美奈子

穏やかな風貌の中にも秘めたる強さを持つ鳥居さん

(会員番号682)



## ペットご披露



## 愛は猫を救う！

去年の9月半ば、Yさん宅の庭の除草をしている時のことです。ふと、塀際の茂みに目をやると、なにか動くものがありました。よく見ると小さい小さい三毛猫です。一瞬、ドキッとしてしました。でも、直ぐその緊張は解けました。そして、居間でテレビを楽しんでられたYさんに、そのことを告げたのです。するとオドオドと「川島さん、なんとかして下さいませんか？」Yさんの声は上ずってしまいました。Yさんにとっては、ただ事ではなかったのです。



すると、もうそれだけで、朝まで眠れないのです。川島さんなんとかして下さい。お願いします」。の悲愴な面持ちのYさんでした。当日のその後の話は略しますが、そんな経緯があつて結局は現在私の家には当の二匹の猫がいるのです。

一匹じゃ一匹じゃないの。二匹というのは、実は茂みが深くもう一匹の「黒」が見えます。猫の日々の動向に接していると、なぜか安堵を覚えます。猫は、心を癒す、愛すべき動物です。

川島 政雄

「私、夜中に猫の気配が

(会員番号433)



職人の技・洋菓子

エマンテ



ケーキ製作中の中里浩和店主

大震災の後、市内中心部の様子がすっかり変わった。センターから南、阪神電車の高架にかけても路が拡幅され、区画整理された処に真新しいお店やマンションが建つて来た。

その中の一軒、大通りの中程、西側の角地にある瀟洒な三階建てのビルがエマンテ洋菓子製造販売のお店である。

創業1960年秋と言うから46年の老舗である。現在の経営者中里浩和氏は二代目で先代の中里豊三氏に20年余師事して腕を磨き、最近経営を



当店特製のケーキ『エマンテ』

定休 火曜日  
住所 芦屋市公光町8-30  
☎ 0797-22-5696  
取材 一瀬 奎次郎

バトンタッチしたばかりである。お店の経営方針は、良い材料を使っておいしいケーキを作りお客様に喜んでもらうこと。『儲けは二の次』量を作って店を大きくする気持ちもない。販売は人任せにせず自分の目の届く処において売るといふ職人氣質のお店。  
生クリームをふんだんに使ったケーキが多い。シュークリームは一つで満腹感を覚えるほどクリームがたっぷり。  
『エマンテ』という当店開発のケーキも同様で、程よい甘さと口の中ですとろけるような感触は、言葉では言い表せない美味しさである。  
新規開店が多い芦屋のケーキ屋さんの中で、古くからその味を忘れられないお馴染みさんをしつかりとつかんで離さないのは流石だ。

Ｌ・シ・ピ

じゃがいもと餅ピザ

創作料理 山本 徳高(会員番号730)

日本のお正月にお餅は欠かせません。そのお餅を使って、ときには変わった食べ方はいかが。お正月料理で不足勝ちなビタミンの補充も兼ね、洋風料理に餅を活かしたピザをご披露します。ジャガイモとベーコンの旨みに、餅とチーズの粘りがマッチし、新鮮な感じが楽しめます。

◆材料 (2人前)

- |             |        |
|-------------|--------|
| ベーコン        | 50g    |
| じゃがいも       | 2個     |
| 餅 (しゃぶしゃぶ用) | 6~8枚   |
| ピザ用チーズ      | 50g    |
| 塩こしょう       | サラダオイル |
| ケチャップ       | 一味又は七味 |
| 刻みねぎ又はパセリ   | 適量     |

出来上がり



3. 仕上げに塩こしょうで味付け、ケチャップとねぎ又はパセリで飾る



1. 千切りにしたジャガイモとベーコンを別々に炒め、合わせる



2. 上に餅をのせ、チーズを加え弱火で五分蒸す



はつらつ川柳

チカ子

(会員番号557)

川柳はとつつき易いと、途中から仲間入りさせて頂いたが、どっこいそうは問屋が卸さない。自由に読んでと言われても困るし、さりとてお題を入れてとなると、これ又先入観が走る。頭の中を空にして、「ポッ」と浮かぶ語句が案外面白い仕上がりになる。楽しむ心を忘れずに続けられたら猶佳し。

クレームを捜し値切るのうまい人  
川の字も大の字もある寢床かな  
まよいごに祭り囃しは哀しすぎ  
豪華船されどされども海の上  
夢なんて砕かれどうしの戦中派  
アッラーの耳に届かぬ母の声  
新開僚いそいそと踏む赤じゅうたん  
強いられて歌う国歌は歌じゃない  
寒空に心凍える記事おおい  
つたなさを舞台裏から覗いてる

鈴木 義行

(会員番号247)

照る光けむりの如く時が過ぎ  
麗日の風に帰れし日輪も

俳句

太田 兌子

(会員番号314)

木々早やも 冬芽ビッシリ 蓄へし  
家族らの 大き望みや 年酒酌む  
和やかな 言葉交はして 初仕事



平成18年度 全国シルバー安全スローガン

安全で活かせんバーの知恵と技

平成18年度 芦屋市シルバー人材センター安全標語

慣れ油断 体調不良は  
事故のもと

事務局コーナー

新年明けましておめでとう  
ございます。

会員の皆様のご活躍により、  
事業高が順調に伸びています。  
しかしながら、事故も増加  
しており、既に前年度の件数  
を上回っています。

事故は「いつも：だから」  
「いままで：だから」といった  
慣れから発生するものがほと  
んどです。

今一度、出かける前には安  
全標語を思い起こして、安  
全・健康に気を付けてくださ  
い。

今年度の安全標語「慣れ油  
断 体調不良は 事故のもと」  
を各々が思い起こして、以後  
事故を発生させないつもりで  
就業に望んでもらいたいと思  
います。

今年もよろしく願います。

事務局一同



安全確認

編集後記

「はつらつ芦屋」も第3号を発  
行することになりました。今回初  
めて全ページカラーとなり、その  
時々の風景がカラーで再現され印  
象的です。ペットの猫ちゃんも白  
黒と違って毛並み、眼の色など愛  
らしくなりました。

会員の寄稿が増えてきたのも嬉  
しい事です。これからも、出来る  
だけ皆さんに読んで頂ける誌面、  
役に立つ情報、感動を呼ぶ記事に  
溢れた会報を作りたいと、広報委  
員はアンテナを張り巡らせ、情報  
収集に努めております。

当センターに入会して3年。現  
在は、一ヶ月に2回のお習字教室  
のアシスタント。低学年の子供た  
ちの筆順を見たり、行儀を注意し  
たりもします。年末の二ヶ月はコー  
プさんの店頭で年賀状の受付。短  
期間ですが、若い人たちと同じ環  
境でのハードな仕事は、とても刺  
激になっています。

大重 美奈子



# はつらつギャラリー

はつらつ昔屋第3号 平成19年1月1日発行・発行者・(社)芦屋市シルバー人材センター 〒659-0068 芦屋市業平町6番19号



芦屋浜の美しい夕焼け



市川 光尚(会員番号763)

「はつらつギャラリー開設」をお知らせしたところ、早速市川さんから写真の応募がありました。その中から四点を選ばせて頂きました。



芦屋浜に可憐な姿を見せたシランの花



西表島のひょうきんなミナミスナガニ



紅葉真っ盛りの落柿舎庭園-京都嵯峨野